

5．歴史文化資源

歴史・文化に係わる事項として以下のような事柄があげられている。

1) 歴史文化について―社寺―

水の信仰にささえられた神於山信仰は、雨乞い行事にみられる山岳信仰と仏教の融合で、神社や寺を設けて行場とする修行道により、さらに信仰が深められた。特に神於寺は、中世には百八坊大伽藍を誇ったといわれている。

また、山麓には神体山である神於山を取り囲むように山直神社、東葛城神社、意賀美神社があり、神於山周辺は文化の中心的な位置を占めていたと考えられている。

例えば、意賀美神社は、約1300年の歴史を有する古社と言われている。元慶8年（884）の大干ばつの時、陽成天皇が菅原道真に降雨を祈らせたことから「雨降り大明神」とも呼ばれている。境内を流れる津田川の上流に高さ10m余りの滝があり、日照りの時にこの水を神前に供えて祈ると、必ず雨が降ったことから「雨降りの滝」と名付けられている。

2) 眺 望

意賀美神社の南東の北阪八幡神社からの眺望は見事で、南の和泉葛城山系の山並みから海辺に至るまでの岸和田市街、さらに西の淡路島まで見渡せる。

神於山の山腹の秋はカエデが色づき、ハイカーたちを楽しませてくれ、この山頂の展望台からの眺めもすばらしい。

先に紹介した『和泉名所図会』にも「それ、当山（註：神於山）は、泉州の最中にして、南北を遥かに見渡し、西の方は海面、渺々^{ひょうひょう}として、日の斜めなる頃、月の入りしほの頃、淡路の嶋山にかかりて、当国第一の絶勝なり。風光を好む人、到らずんばあるべからず。」と記されており、神於山は、江戸時代より眺望のよい所として知られていた。

表 1 - 5 歴史・文化資源

他の事象と複合する資源		単体事象	
<社寺>		<史跡・伝説地等>	<景勝地>
意賀美神社	神於寺	ウバメガシ地蔵	国見台
(社叢林)	福智院	杉地蔵	城見台
(雨降らしの滝)	大日堂	松地蔵	
山直神社	長徳寺	桜地蔵	
(社叢林)	光円寺	衣岩	
北阪八幡宮		帝釈天回向岩	
権現神社		片麻岩の見本岩	
東葛城神社		光忍上人塚古墳	
		銅鐸出土地	
		金採掘穴	

「神於山（里山）植生調査業務（現況編）」 岸和田市 2004 / 03

